

## 技術報告②

### セメント製品部門

## 令和6年度農林水産省との意見交換会

### 「プレキャストコンクリート製品の 活用促進について」

セメント製品部門幹事会では、プレキャストコンクリート製品の活用促進について、働き方改革に即した工事現場の省力化・効率化を図り、生産性を向上させる観点から、会員企業の意見をとりまとめ、このほど、農林水産省農村振興局整備部設計課施工企画調整室との意見交換会を開催した。

本稿は、2024（令和6）年7月25日（木）に開催した意見交換会の概要について、報告するものである。

【日時】 2024（令和6）年7月25日（木）  
15時～16時30分

【場所】 農業土木会館2階B会議室

#### 【出席者】

（農林水産省農村振興局整備部設計課施工企画調整室）

飯島 陽一 課長補佐（積算基準班担当）

西島 太志 積算企画係長

#### （セメント製品部門幹事会）

土居 邦弘 幹事長 共和コンクリート工業(株)

太田 勝也 幹事 丸栄コンクリート工業(株)

尾崎 明久 幹事 ベルテクス(株)

小澤 與宏 幹事 昭和コンクリート工業(株)

川添 謙一 幹事 インフラテック(株)

村岡 宏 幹事 (株)北陽

#### （農業土木事業協会事務局）

山田 耕士 事務局長

野村 栄作 企画部長



## 1 セメント製品部門 幹事長挨拶



土居幹事長

農林水産省におかれ  
では、大変お忙しい  
中ご出席いただき、誠  
にありがとうございます  
す。また、日頃よりご  
指導ご高配を賜ってお  
りますことに厚くお礼  
を申し上げます。

さて、プレキャスト  
製品の活用促進につきましては、建設現場での  
生産性の向上、技能労働者の高齢化への対応、  
また、設計段階における省力化なども好評価を  
いただき、採用いただいていることに心よりお  
礼申し上げます。

一方、こうした中でもまだ活用が進んでいな  
いところもあり、本日は4点ほど要望をさせて  
いただきます。

また、本日の要望事項ではありませんが、プ  
レキャスト製品のコスト上昇につきましては、  
価格に反映していただき嬉しく思っております。  
他方で事業の安定的な実施の観点からも、  
物価が上がった分は事業量の減少で対応させる  
のではなく、是非とも予算を増やしていただ  
ければと思っておりますことを、一言申し添え  
ます。

本日はよろしく願いいたします。

## 2 提案及び回答

### (1) 現場の浸透・実践状況のモニタリングに ついて

#### (要望1)

2022(令和4)年11月10日の設計課長  
通知「コンクリート構造物におけるプレキャスト  
コンクリート製品の導入促進について」の浸透・  
実践状況について、事業所・事務所(施設設計等  
を担当する事業所の監督職員など。調査管理事務  
所が行う調査計画及び全体実施設計段階の概略設  
計や基本設計を含む)へのモニタリング(アンケ  
ート調査など)の実施をお願いします。

#### 【協会】

2022(令和4)年の  
11月に設計課長通知で  
出していただいた導入  
促進の通知について、  
画期的であった一方、  
ついて行けていない現  
場もあるように感じて  
いる。現場を回ってい  
ても温度差を感じる。



太田幹事

実際に施設の設計を担当する事業所の職員  
の方々、さらには計画の段階からそういった二次  
製品の活用というものも見込んだ計画づくりが  
必要であるとの理解の下、調査管理事務所も含  
めて、モニタリング、アンケート調査をお願い  
できないか。

#### 【農林水産省】

2022(令和4)年11月の設計課長通知につ  
いて、現場へ浸透しきれていないとの指摘がある  
ことは承知している。このため、全国事業所長  
会議や担当者会議の場で周知徹底に努めている。

#### 【協会】

なぜ現場打ちとの比較設計が依然として行  
われているか、差し支えなければ教えていただ  
きたい。



飯島補佐

#### 【農林水産省】

今までやってきたこ  
とを急に切り替えられ  
ないということがある  
のかもしれない。

#### 【協会】

現場でそのような意  
見は多いようだ。

また、総事業費の不  
足から、プレキャストを使えないというよう  
な事業所もあるようだ。

#### 【協会】

計画段階における適正な総事業費の確保につ  
いては、施工企画調整室のみならず、計画調整  
室とも連携して取り組んでいただきたい。

## (2) プレキャスト技術研修の実施について

### (要望2)

プレキャストコンクリート製品の現場への導入の円滑化を図るため、2023（令和5）年度に中国四国農政局土地改良技術事務所が主催したプレキャストコンクリート製品の技術研修のような取組を通じて農業土木技術者へのプレキャストコンクリート技術の普及・啓発をお願いします。

### 【協会】

一般に、農業土木分野では、プレキャストと言えば水路のイメージと思われるが、今日では様々な新しい技術がある。



小澤幹事

例えば、ため池の底樋管については、地盤沈下に対して追従する柔構造のプレキャスト製品がある。軟弱地盤上でもプレキャストで調整池を造ることができるようになっている。これは品質のよい目地があり、多少動いても水漏れしないためだ。ため池の減勢工についても、プレキャストをつなぐ良い鉄筋材料がある。

こうした技術を若手技術者にも是非知ってもらいたい。

### 【協会】

現場の若手技術者は、以前と比べ現場に出て技術を学ぶ機会が減っており、研修機会の確保は必要である。

### 【農林水産省】

現地研修会の取組は若手技術者にとって有意義なものとして認識しているので、実施に当たっては協会のご協力をお願いしたい。

### 【協会】

工場見学も盛り込んでいただきたい。

補助事業でも新技術の普及が見られるので、こうした事例も紹介していただきたい。

### 【農林水産省】

先ほど、軟弱地盤上の調整池におけるプレ

キャスト継ぎ目の漏水対策について話があったが、具体的にはどのような技術か。

### 【協会】

シリコン系の充填剤を多くの企業が開発している。

## (3) プレキャストコンクリート製品活用事例集・ガイドラインなど技術参考資料の作成について

### (要望3)

現場におけるプレキャストコンクリート製品の導入を支援するため、先述の技術研修で各社が作成した資料を蓄積・活用して、プレキャスト製品の活用事例集やガイドラインなど技術参考資料の作成・普及をすることについて検討をお願いします。

技術参考資料の作成に当たっては、プレキャスト製品のメリットや現場打ちとの比較に重点を置くのではなく、「コンクリート構造物の原則プレキャスト化」の趣旨を明示したうえで、これを前提とした「プレキャスト製品導入の際の留意点（搬入条件や標準的な工場制作期間など）」や「プレキャストの新技术・新製品の照会」に重点を置くことが重要と考えます。

### 【協会】

現場における原則プレキャスト化の浸透を後押しするため、技術参考資料の作成・普及を是非お願いしたい。



村岡幹事

技術資料の作成に当たっては、従前に出された施工事例集にある

ような現場打ちとの比較資料ではなく、導入する際の留意点や搬入条件など、プレキャスト化が前提であることを読者にわかるような工夫が必要である。また、新しい技術や製品の紹介にも重点を置いていただきたい。

このため、当協会としても要請があればできる限りの協力をしたい。



西島係長

【農林水産省】

工期短縮などメリットを織り込んだ事例集の作成について考えているところであり、協会のご協力をお願いしたい。

【協会】

事例集の作成に当たっては、優良工事事例集などの形で幅広く収集すると集めやすいのではないか。その中でプレキャスト事例を抜き出していくと良い。

(4) 2021（令和3）年3月31日の通知の廃止について

(要望4)

2021（令和3）年3月31日の設計課長通知（「基本設計段階におけるコンクリート構造物の比較設計に当たっての留意事項について（依頼）」）は「現場打ちとプレキャストの経済比較を適切に行う」との趣旨となっており、これを受け取る事業所等の担当者や設計業務を受注したコンサルタントにとって、2022（令和4）年11月10日の通知（搬入可能なコンクリート構造物は原則プレキャスト化）と『二重基準』に映り、現場で混乱が生じる恐れがあるため、2021（令和3）年3月31日の通知を廃止又は改正（注）することについて検討をお願いします。

（注）例えば、「2022（令和4）年11月の通知で『原則プレキャストとする』とされたところですが、固有の特別な事情があって止むを得ず現場打ちとプレキャストの比較設計を行わなければならない場合にあっては、この通知（2021（令和3）年3月31日の通知）に基づき適切に行うこと」等の趣旨を追記するなど。

【協会】

2022（令和4）年の通知が出た段階で、2021（令和3）年の通知も残ったことから、私どもとしては二重基準的に感じており、また現場でもそのように感じている技術者もいると聞いていたので、2021（令和3）年の通知を廃止すれば、ハッキリするのではないかと考えたところである。

一方、現場条件によっては現場打ちを採用する場合もあることから、同じ文書の中でプレキャストと現場打ちの優劣関係を明示することで現場の混乱も少なくなると思われる。このため、このような整理の仕方について検討をお願いします。

【農林水産省】

2022（令和4）年11月の通知を发出する際、2021（令和3）年3月の通知の取扱いについても検討したところであるが、特殊構造物等については経済比較による費用の検討まで否定することはできないので、2021（令和3）年3月の通知を活かしている点をご理解いただきたい。

協会のご提案については、持ち帰り検討する。

【協会】

頭首工のプレキャスト化について、最初からプレキャスト化するという選択にはならない。多くの場合、冬季のコンクリート養生の問題や河川内工事における施工期間の短縮のため使いたいということになる。そこでメリットも含め経済比較することになるが、特殊構造物であってもこうした場面で使えるように指導してほしい。

3 質疑応答

(1) 物流の2024（令和6）年問題も踏まえた製品価格の設定について

【協会】

物流の2024（令和6）年問題に関連しての質問。プレキャストの現着価格は納入先や現場条件によりかなり変動するため、一律的に物価版などの調査価格を適用すると、実際の取引価格との差が非常に大きくなるのが懸念される。

このため、工事毎に納入場所や見積条件を明示いただき、見積徴収して頂くよう現場を指導願いたい。



尾崎幹事

**【農林水産省】**

価格の設定に当たっては、現場条件との整合を確認した上、必要に応じて見積対応するよう指導して参りたい。

**【協会】**

トラックドライバーの残業上限規制については、上半期の残業が過多になれば、下半期の物流にしわ寄せがくる恐れもある。非かんがい期に工事が集中することを考えれば、物流の状況には注視願いたい。

**(2) 新技術・新製品の活用促進について**



川添幹事

**【協会】**

新技術・新製品の活用促進について、受注者側からのチャレンジができるような制度について、検討をお願いします。

**【農林水産省】**

持ち帰って検討する。